

4. スポーツ活動・運動習慣について

本アンケートにおける「スポーツ」とは

「自らの意志で行う身体的な活動」を広く「スポーツ」ととらえています。野球やテニスなどの競技スポーツだけでなく、通勤・通学や買い物などでのウォーキングや散歩などの軽い運動も「スポーツ」に含めてご回答ください（ただし、e スポーツは含みません）。

(1) 運動やスポーツの活動状況について

《実施頻度》

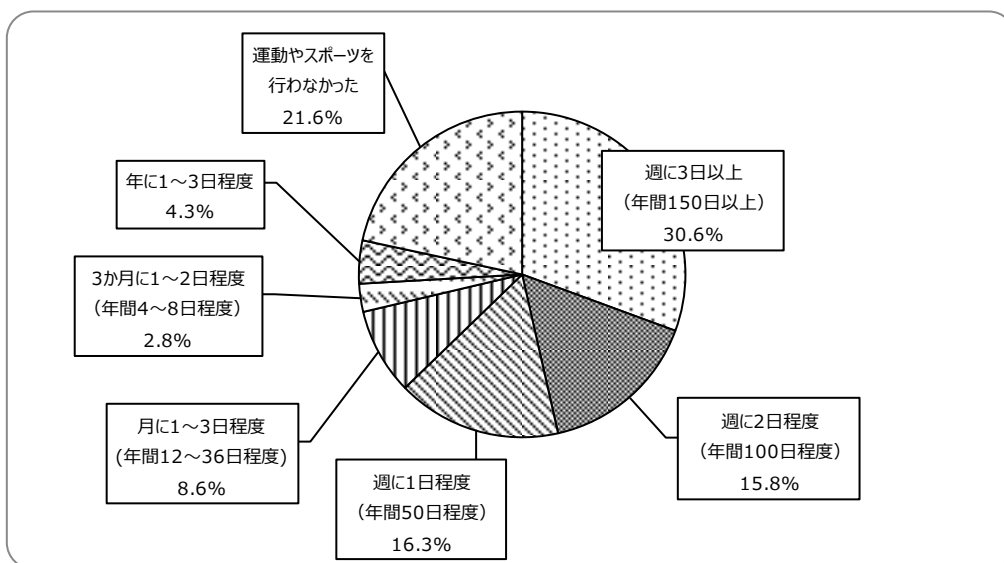
問 50. この1年間（令和2年12月1日～令和3年11月30日）に、1日に合計30分以上の運動（日常の歩行や自転車を含む）やスポーツを、どのくらいの頻度で行いましたか 【選択は1つ】

1日に合計30分以上の運動やスポーツを週に1日以上実施する方の割合は、62.7%となった。一方、1年間「運動やスポーツを行わなかった」方の割合は21.6%という結果であった。

「堺市スポーツ推進プラン」では、週2回以上運動する方の割合を50%以上にすることを目標としており、60歳代以上では達成できているが、60歳未満のビジネスパーソンが多い世代の実施率が低い結果となっている。全体での割合は、「週に3日以上（年間150日以上）」（30.6%）と「週に2日程度（年間100日程度）」（15.8%）を合わせて46.4%であった。

60歳未満の世代を対象に、様々な機会を捉えて運動・スポーツの習慣化を啓発していく必要がある。

	選択項目 (N=467)	回答数	構成比
1	週に3日以上（年間150日以上）	143	30.6%
2	週に2日程度（年間100日程度）	74	15.8%
3	週に1日程度（年間50日程度）	76	16.3%
4	月に1～3日程度（年間12～36日程度）	40	8.6%
5	3か月に1～2日程度（年間4～8日程度）	13	2.8%
6	年に1～3日程度	20	4.3%
7	運動やスポーツを行わなかった	101	21.6%
	計（回答総数）	467	100.0%



《実施時間》

問 51. 運動やスポーツを行う主な時間帯はいつですか。問 50 で「7 運動やスポーツを行わなかった」を回答された方は、今後、運動やスポーツを行うとしたら時間帯はいつかお答えください。 【複数回答可：いくつでも】

平日は「午前中（9 時～11 時台）」（32.5%）、次いで「夜間（18 時～21 時台）」（26.8%）が高い割合となり、休日は主に「午前中（9 時～11 時台）」から「夕方（15 時～17 時台）」にかけて回答が分散する結果であった。

また、性別ごとに運動やスポーツの実施率を見ると、女性の実施率は平日・休日ともに午前中・昼間（9 時～14 時台）が高く、男性は平日夜間（18 時～21 時台）、休日は午前中（9 時～11 時台）が高くなっている。この結果をもとに、スポーツイベントや教室等の企画にあたっては、世代や性別など対象に応じて、参加しやすい曜日・時間帯を設定し、実施する。

《全体》

		選択項目 (N=467)	回答数	回答数/N
平日	1	早朝（5時～8時台）	76	16.3%
	2	午前中（9時～11時台）	152	32.5%
	3	昼間（12時～14時台）	96	20.6%
	4	夕方（15時～17時台）	99	21.2%
	5	夜間（18時～21時台）	125	26.8%
	6	深夜（22時以降）	22	4.7%
休日	7	早朝（5時～8時台）	48	10.3%
	8	午前中（9時～11時台）	190	40.7%
	9	昼間（12時～14時台）	156	33.4%
	10	夕方（15時～17時台）	124	26.6%
	11	夜間（18時～21時台）	72	15.4%
	12	深夜（22時以降）	14	3.0%

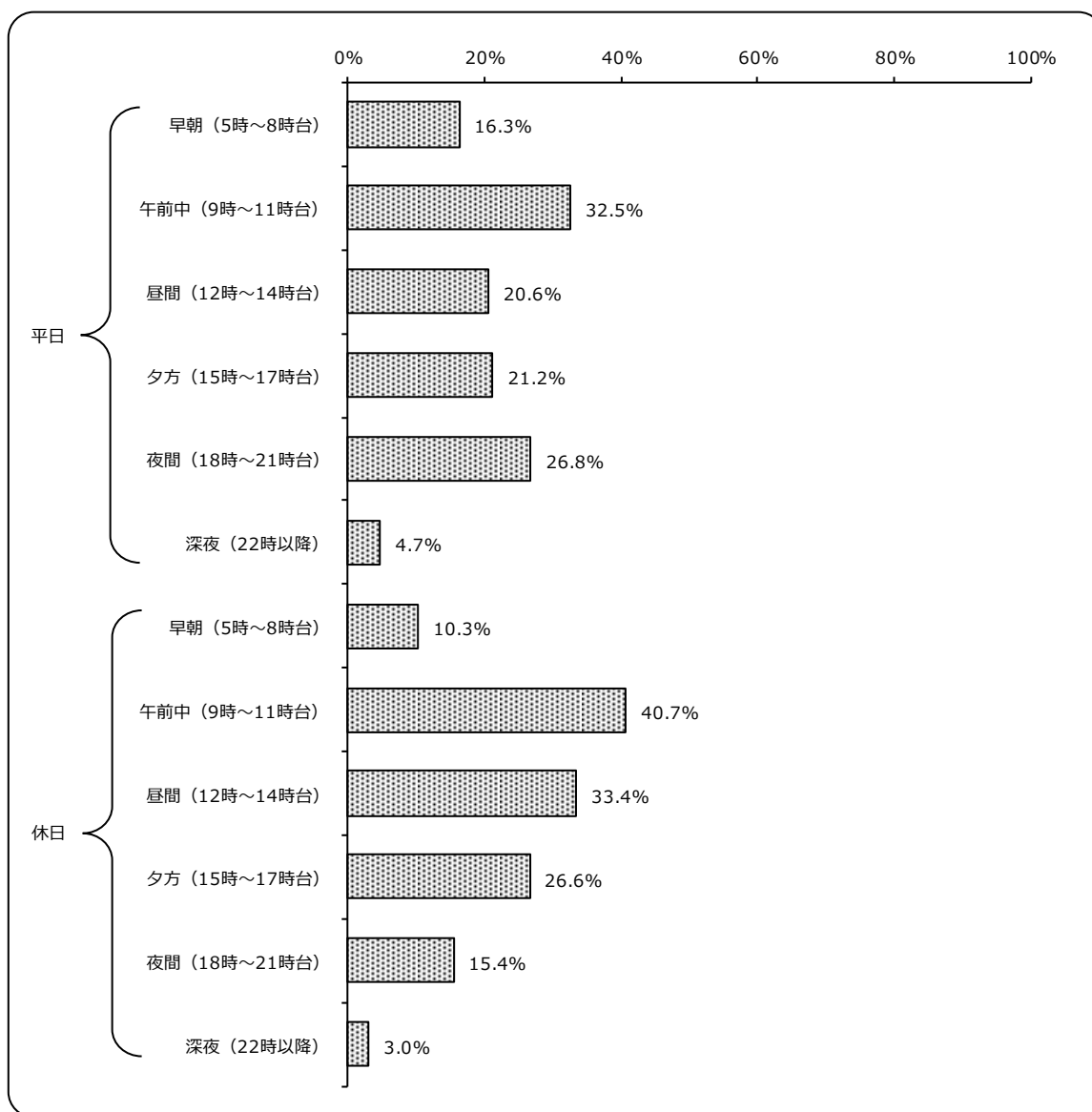
《男性》

		選択項目 (N=186)	回答数	回答数/N
平日	1	早朝（5時～8時台）	31	16.7%
	2	午前中（9時～11時台）	48	25.8%
	3	昼間（12時～14時台）	25	13.4%
	4	夕方（15時～17時台）	43	23.1%
	5	夜間（18時～21時台）	60	32.3%
	6	深夜（22時以降）	12	6.5%
休日	7	早朝（5時～8時台）	20	10.8%
	8	午前中（9時～11時台）	79	42.5%
	9	昼間（12時～14時台）	52	28.0%
	10	夕方（15時～17時台）	57	30.6%
	11	夜間（18時～21時台）	34	18.3%
	12	深夜（22時以降）	7	3.8%

《女性》

	選択項目 (N=281)	回答数	回答数/N
平日	1 早朝 (5時～8時台)	45	16.0%
	2 午前中 (9時～11時台)	104	37.0%
	3 昼間 (12時～14時台)	71	25.3%
	4 夕方 (15時～17時台)	56	19.9%
	5 夜間 (18時～21時台)	65	23.1%
	6 深夜 (22時以降)	10	3.6%
休日	7 早朝 (5時～8時台)	28	10.0%
	8 午前中 (9時～11時台)	111	39.5%
	9 昼間 (12時～14時台)	104	37.0%
	10 夕方 (15時～17時台)	67	23.8%
	11 夜間 (18時～21時台)	38	13.5%
	12 深夜 (22時以降)	7	2.5%

《全体》



《実施場所》

問 52. 問 50 で 1～6 のいずれかを回答された方に伺います。主にどこの施設で運動やスポーツを行いましたか。

【複数選択可：いくつでも】

平日・休日ともに、「道路」及び「公園」の回答がそれぞれ約 40%であり、他項目に比べて高い割合となった。次いで「自宅または自宅敷地内」となっている。問 53 の結果からも、個人単位で運動・スポーツを行う割合が高く、公園や道路、自宅など身近な場所を選ぶ傾向にある。

		選択項目 (N=366)	回答数	回答数/N
平日	1	公共の体育館・スポーツ施設	25	6.8%
	2	学校の体育館・運動場など	7	1.9%
	3	民間の屋内施設 (フィットネスクラブ、ジムなど)	43	11.7%
	4	民間の屋外施設 (レジャープール、スキー場、ゴルフ場など)	11	3.0%
	5	自宅または自宅敷地内	90	24.6%
	6	職場または職場敷地内	22	6.0%
	7	公園	133	36.3%
	8	公民館	1	0.3%
	9	道路	151	41.3%
	10	緑道	59	16.1%
	11	山岳・森林・海・湖・川 などの自然環境	16	4.4%
	12	その他	9	2.5%
休日	13	公共の体育館・スポーツ施設	22	6.0%
	14	学校の体育館・運動場など	9	2.5%
	15	民間の屋内施設 (フィットネスクラブ、ジムなど)	30	8.2%
	16	民間の屋外施設 (レジャープール、スキー場、ゴルフ場など)	18	4.9%
	17	自宅または自宅敷地内	82	22.4%
	18	職場または職場敷地内	1	0.3%
	19	公園	147	40.2%
	20	公民館	4	1.1%
	21	道路	144	39.3%
	22	緑道	58	15.8%
	23	山岳・森林・海・湖・川 などの自然環境	41	11.2%
	24	その他	7	1.9%

[12 その他]

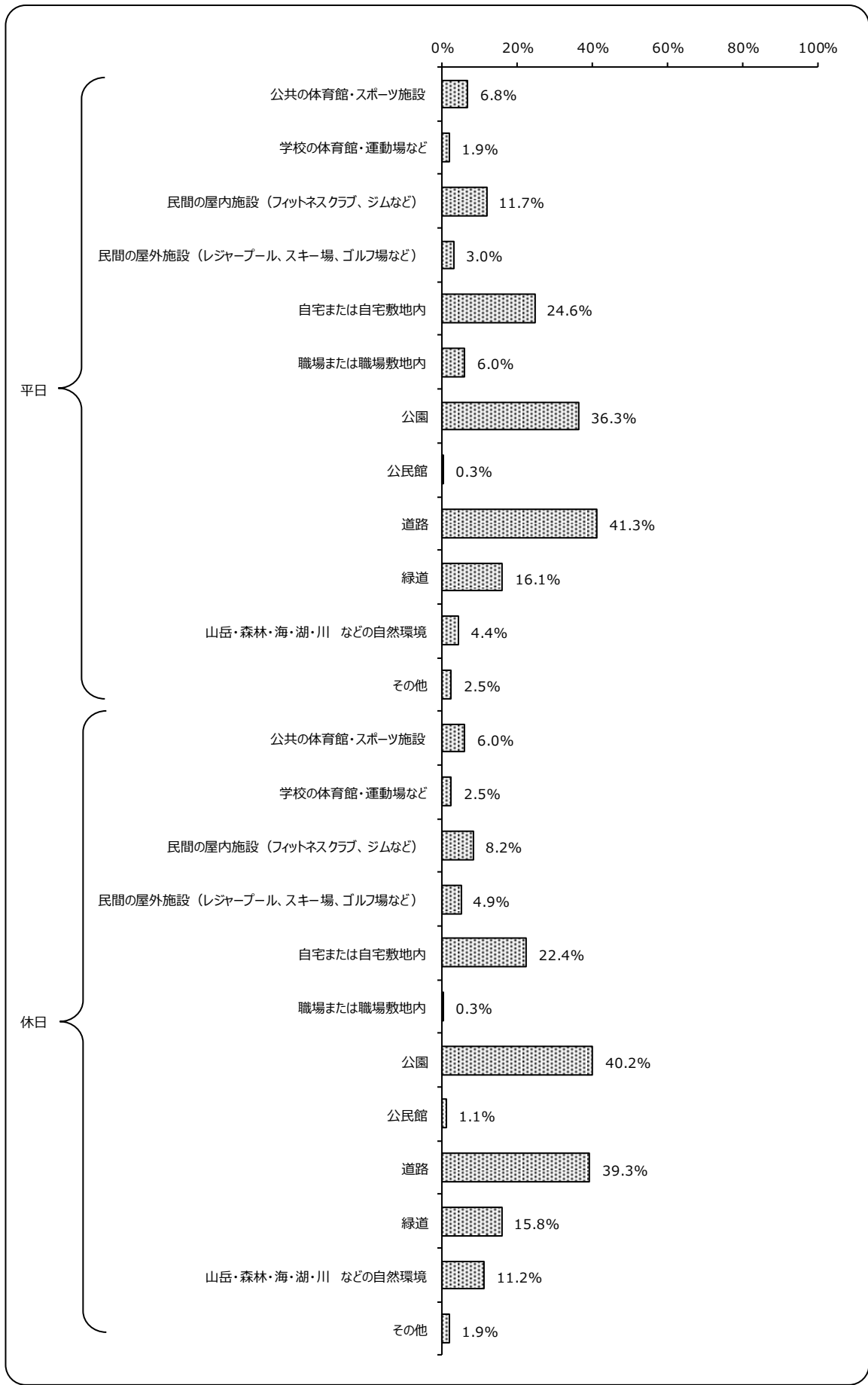
【主な回答】

- リハビリステーション
- サークルのフリースペース

[24 その他]

【主な回答】

- 市外の公共スポーツ施設
- 商業施設



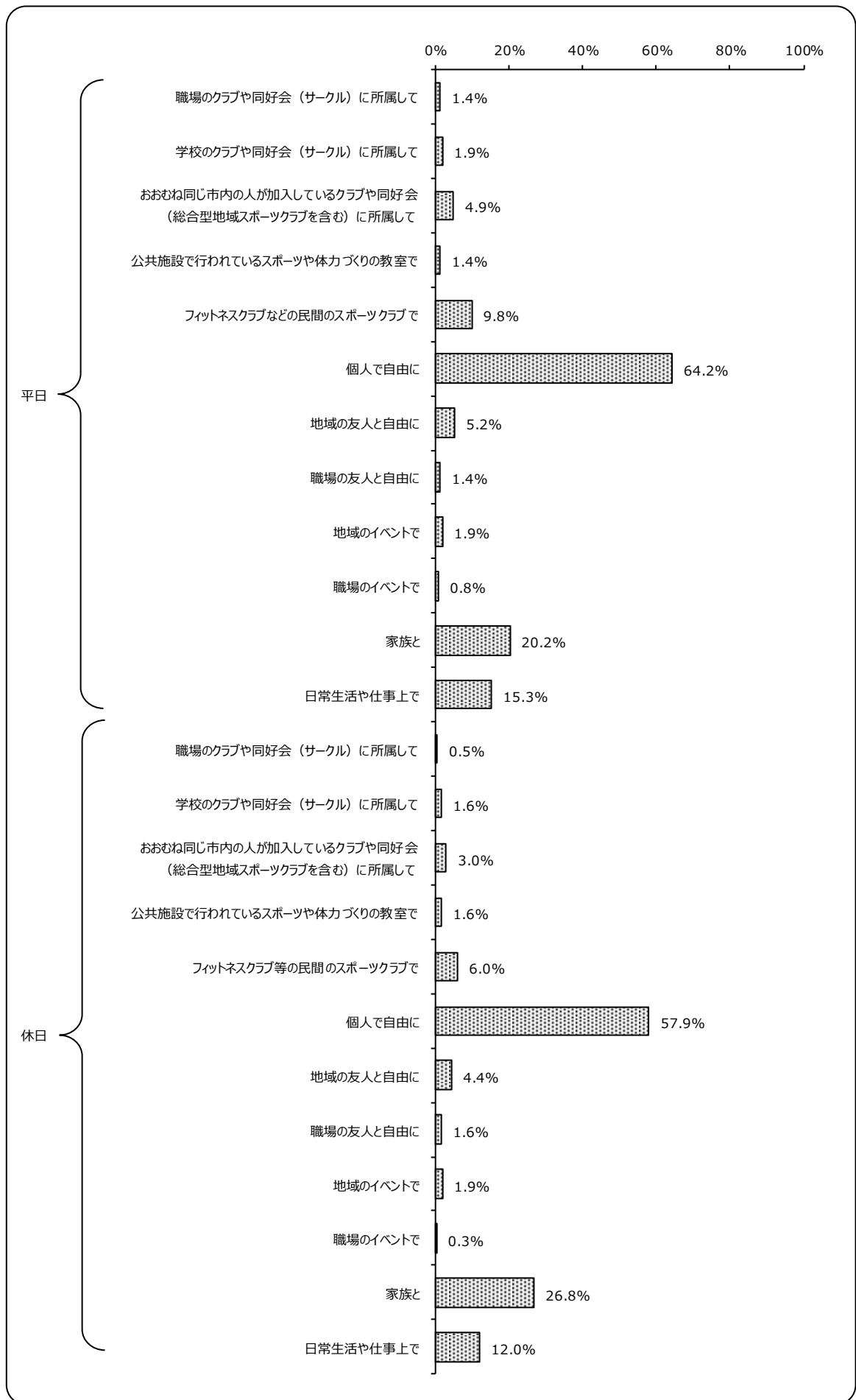
《実施形態》

問 53. 問 50 で 1～6 のいずれかを回答された方に伺います。運動やスポーツを主にどのような形で実施しましたか。

【複数選択可：いくつでも】

平日、休日とも「個人で自由に」が 50%を超える割合で最も高く、次いで多いのが「家族と」となっていることから、今後は個人でもできる運動や家族と楽しめるスポーツ等に対するニーズをふまえた施策を展開していく必要がある。

	選択項目 (N=366)	回答数	回答数/N
平日	1 職場のクラブや同好会（サークル）に所属して	5	1.4%
	2 学校のクラブや同好会（サークル）に所属して	7	1.9%
	3 おおむね同じ市内の人が加入しているクラブや同好会（総合型地域スポーツクラブを含む）に所属して	18	4.9%
	4 公共施設で行われているスポーツや体力づくりの教室で	5	1.4%
	5 フィットネスクラブなどの民間のスポーツクラブで	36	9.8%
	6 個人で自由に	235	64.2%
	7 地域の友人と自由に	19	5.2%
	8 職場の友人と自由に	5	1.4%
	9 地域のイベントで	7	1.9%
	10 職場のイベントで	3	0.8%
	11 家族と	74	20.2%
	12 日常生活や仕事上で	56	15.3%
休日	13 職場のクラブや同好会（サークル）に所属して	2	0.5%
	14 学校のクラブや同好会（サークル）に所属して	6	1.6%
	15 おおむね同じ市内の人が加入しているクラブや同好会（総合型地域スポーツクラブを含む）に所属して	11	3.0%
	16 公共施設で行われているスポーツや体力づくりの教室で	6	1.6%
	17 フィットネスクラブ等の民間のスポーツクラブで	22	6.0%
	18 個人で自由に	212	57.9%
	19 地域の友人と自由に	16	4.4%
	20 職場の友人と自由に	6	1.6%
	21 地域のイベントで	7	1.9%
	22 職場のイベントで	1	0.3%
	23 家族と	98	26.8%
	24 日常生活や仕事上で	44	12.0%



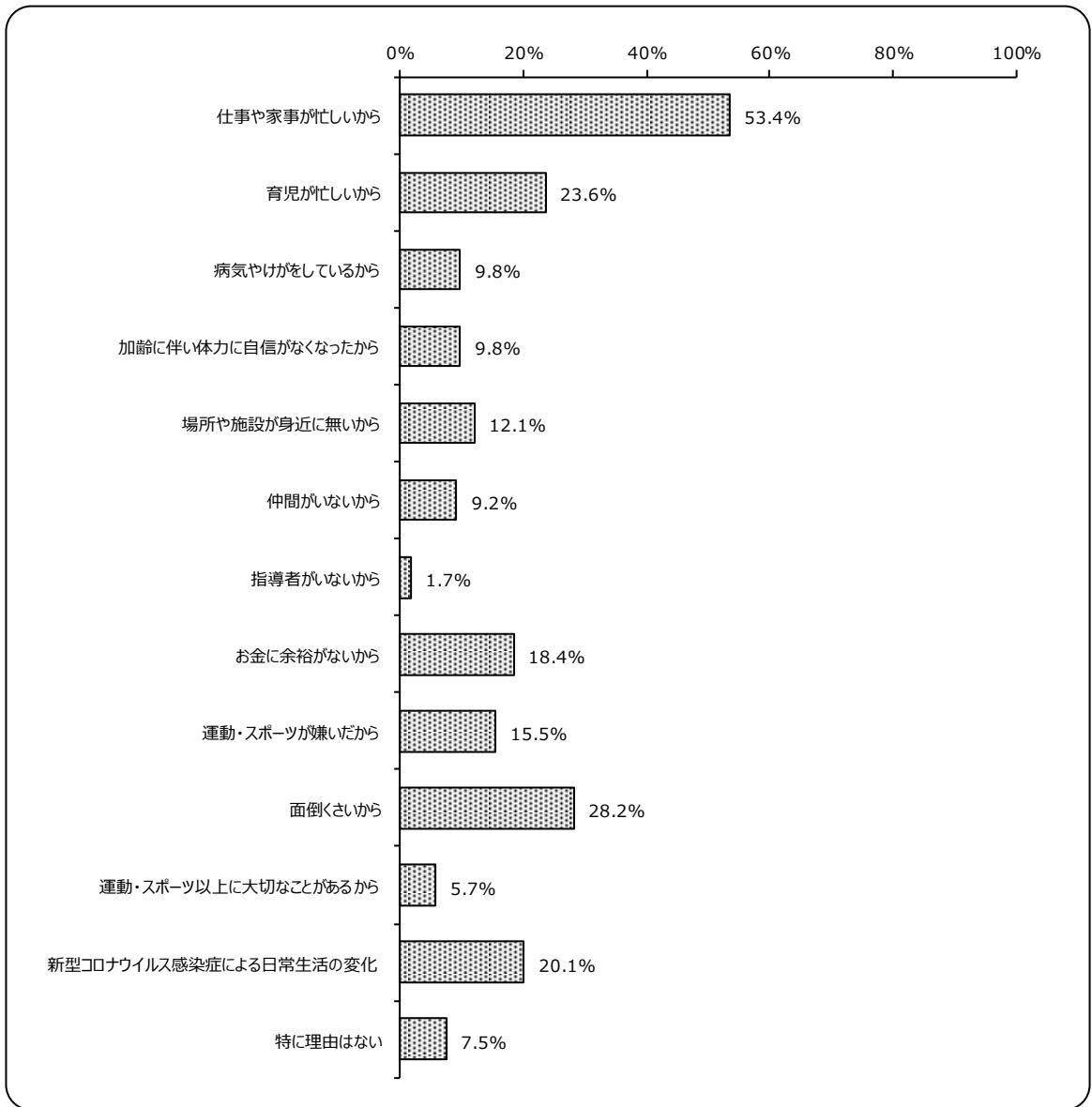
«運動・スポーツを実施できなかった理由 1»

問 54. 問 50 で 4～7 のいずれかを回答された方に伺います。週に 1 日以上運動やスポーツを実施できなかった理由は何ですか。 【複数回答可：いくつでも】

時間的な要因である「仕事や家事が忙しいから」（53.4%）の割合が最も高く、次いで心理的要因である「面倒くさいから」（28.2%）の回答が続いた。

仕事や家事の合間にできる運動を紹介することや運動・スポーツをすることの有益性について継続的な情報発信を行っていく。

	選択項目 (N=174)	回答数	回答数/N
1	仕事や家事が忙しいから	93	53.4%
2	育児が忙しいから	41	23.6%
3	病気やけがをしているから	17	9.8%
4	加齢に伴い体力に自信がなくなったから	17	9.8%
5	場所や施設が身近に無いから	21	12.1%
6	仲間がいないから	16	9.2%
7	指導者がいないから	3	1.7%
8	お金の余裕がないから	32	18.4%
9	運動・スポーツが嫌いだから	27	15.5%
10	面倒くさいから	49	28.2%
11	運動・スポーツ以上に大切なことがあるから	10	5.7%
12	新型コロナウイルス感染症による日常生活の変化	35	20.1%
13	特に理由はない	13	7.5%



「運動・スポーツを実施できなかった理由 2」

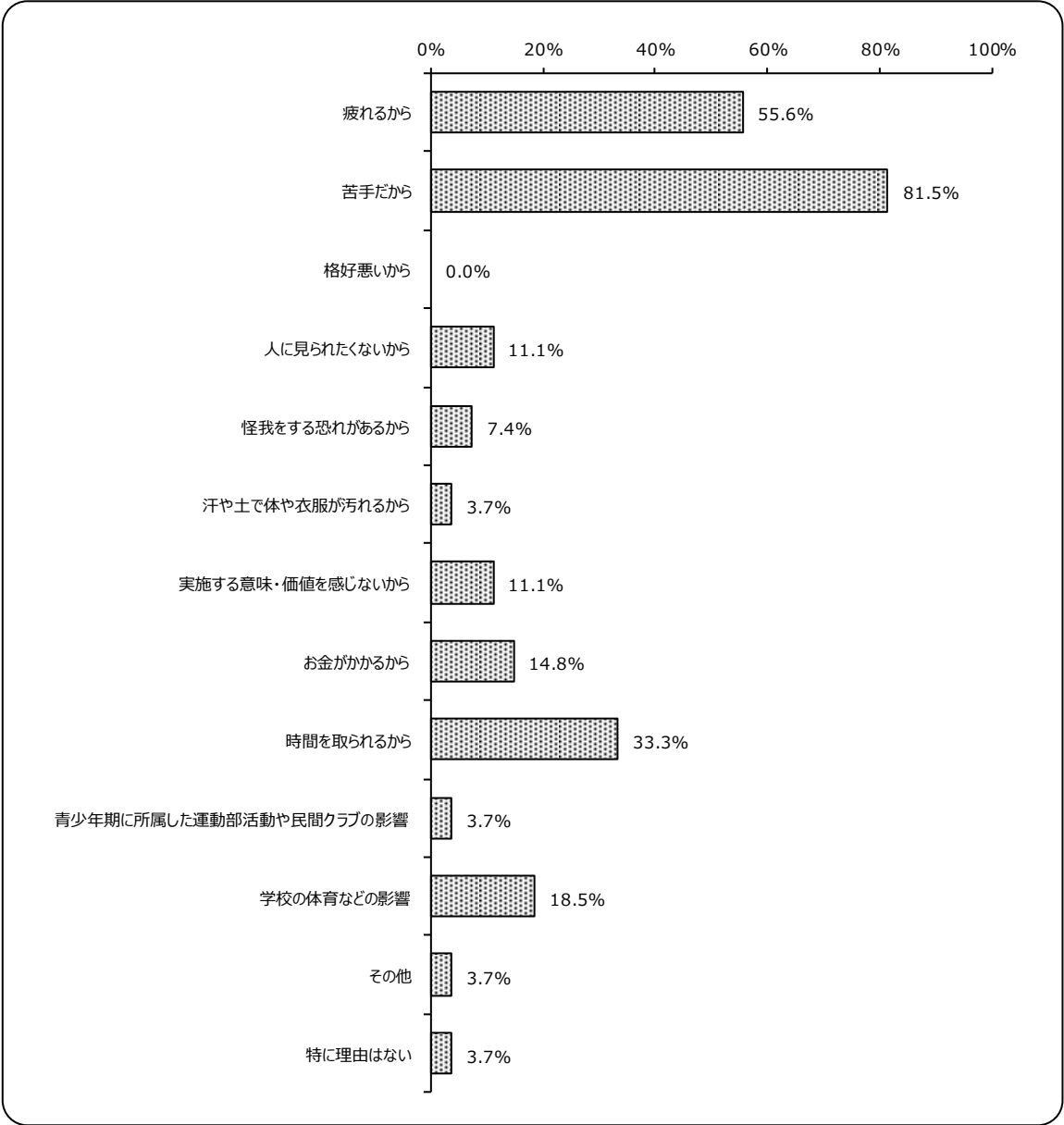
問 55. 問 54 で「9 運動・スポーツが嫌いだから」を回答された方に伺います。嫌いな理由は何ですか。

【複数選択可：いくつでも】

「苦手だから」(81.5%) 割合が最も高く、次いで「疲れるから」(55.6%) の割合が高くなっている。

このように、運動・スポーツに対しネガティブなイメージを持っている方に対し、様々な媒体を通じて、健康効果などのメリットを PR するほか気軽にできる簡単な運動やすべての人が楽しめるスポーツを紹介していく。

	選択項目 (N=27)	回答数	回答数/N
1	疲れるから	15	55.6%
2	苦手だから	22	81.5%
3	格好悪いから	0	0.0%
4	人に見られたくないから	3	11.1%
5	怪我をする恐れがあるから	2	7.4%
6	汗や土で体や衣服が汚れるから	1	3.7%
7	実施する意味・価値を感じないから	3	11.1%
8	お金がかかるから	4	14.8%
9	時間を取られるから	9	33.3%
10	青少年期に所属した運動部活動や民間クラブの影響	1	3.7%
11	学校の体育などの影響	5	18.5%
12	その他	1	3.7%
13	特に理由はない	1	3.7%



《実施理由》

問 56. 問 50 で 1～6 のいずれかを回答された方に伺います。スポーツや運動を行う目的は何ですか。

【複数選択可：いくつでも】

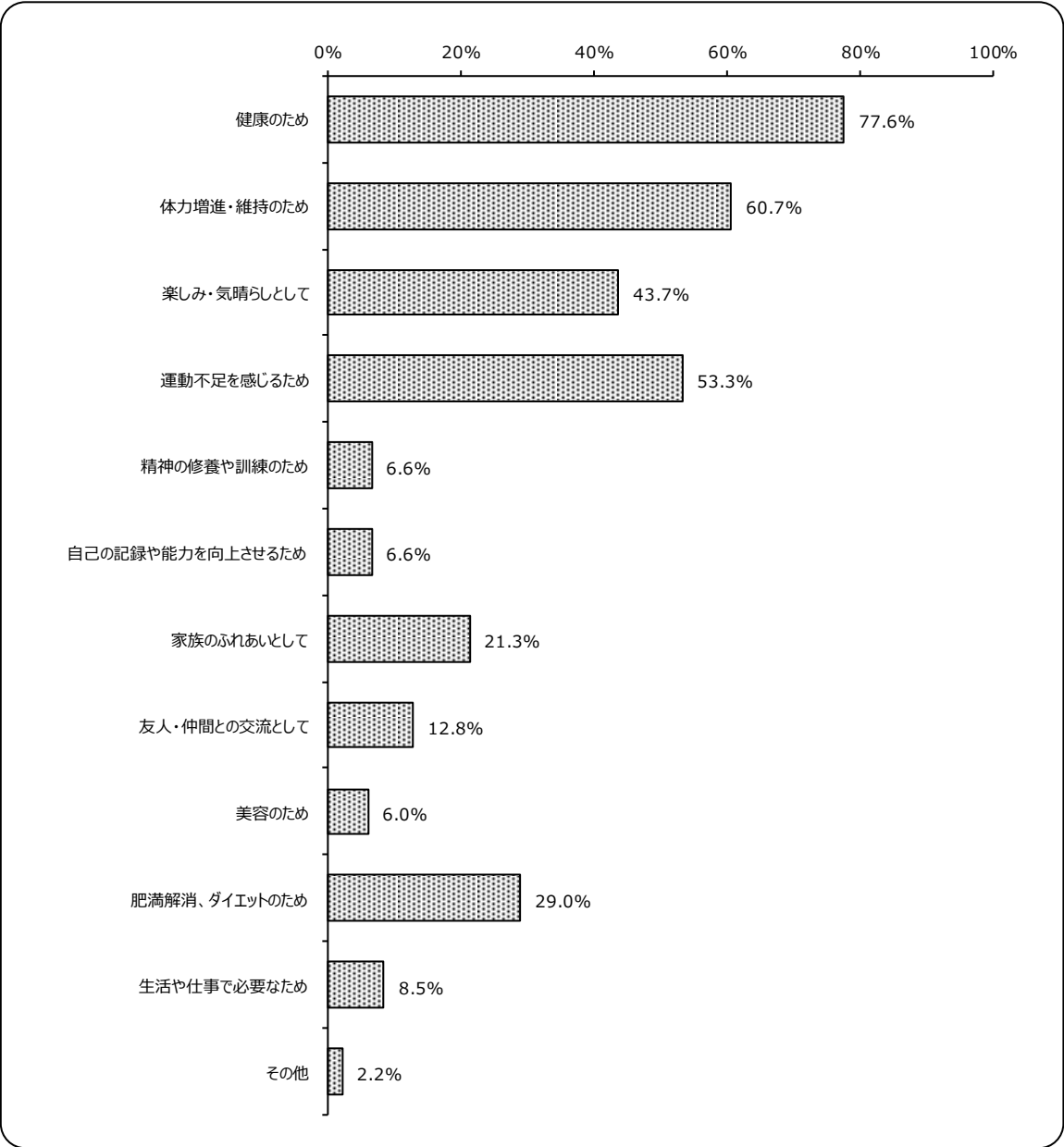
「健康のため」(77.6%)、「体力増進・維持のため」(60.7%)、「運動不足を感じるため」(53.3%)の回答が50%を超える割合で、それに続いて「楽しみ・気晴らしとして」(43.7%)の回答割合が高くなっている。このことから、多くの方が健康増進のためにスポーツや運動をしていることがわかる。

	選択項目 (N=366)	回答数	回答数/N
1	健康のため	284	77.6%
2	体力増進・維持のため	222	60.7%
3	楽しみ・気晴らしとして	160	43.7%
4	運動不足を感じるため	195	53.3%
5	精神の修養や訓練のため	24	6.6%
6	自己の記録や能力を向上させるため	24	6.6%
7	家族のふれあいとして	78	21.3%
8	友人・仲間との交流として	47	12.8%
9	美容のため	22	6.0%
10	肥満解消、ダイエットのため	106	29.0%
11	生活や仕事に必要なため	31	8.5%
12	その他	8	2.2%

[12 その他]

【主な回答】

- ストレス解消のため。
- 犬の散歩
- バス代節約



≪運動やスポーツを始めたきっかけについて≫

問 57. 問 50 で 1～6 のいずれかを回答された方に伺います。過去も含み、運動やスポーツを始めたきっかけは何ですか。 【複数回答可：いくつでも】

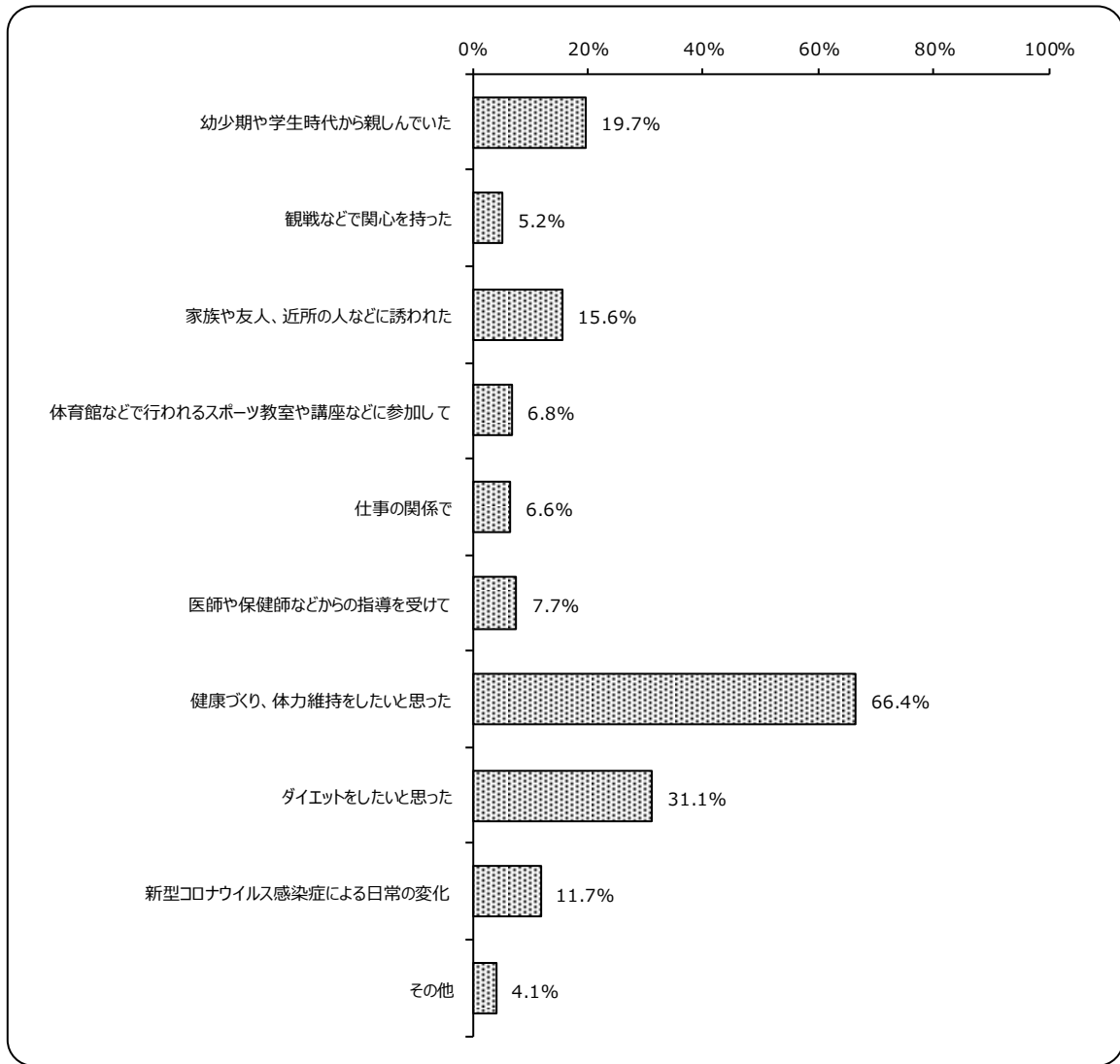
「健康づくり、体力維持をしたいと思った」（66.4%）が最も高い割合となり、運動やスポーツを始めるきっかけとして健康意識が大きく関係している。

	選択項目 (N=366)	回答数	回答数/N
1	幼少期や学生時代から親しんでいた	72	19.7%
2	観戦などで関心を持った	19	5.2%
3	家族や友人、近所の人などに誘われた	57	15.6%
4	体育館などで行われるスポーツ教室や講座などに参加して	25	6.8%
5	仕事の関係で	24	6.6%
6	医師や保健師などからの指導を受けて	28	7.7%
7	健康づくり、体力維持をしたいと思った	243	66.4%
8	ダイエットをしたいと思った	114	31.1%
9	新型コロナウイルス感染症による日常の変化	43	11.7%
10	その他	15	4.1%

[10 その他]

【主な回答】

- 子どもが生まれて散歩に行くようになった。
- 子どもが小さいので公園へ行くから。
- ゲームアプリ
- 時間的にゆとりができた。



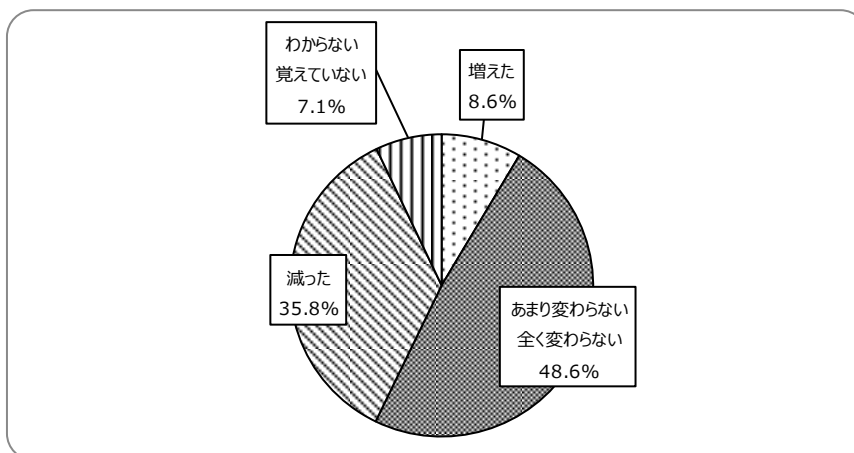
「コロナ禍における運動やスポーツの頻度」

問 58. コロナ禍前と比べて運動やスポーツをする頻度は増えましたか、減りましたか。

【選択は 1 つ】

「あまり変わらない・全く変わらない」（48.6％）の割合が半数を占め、次いで「減った」（35.8％）の回答割合が続
き、新型コロナウイルスが運動・スポーツ実施率にも影響を与えていることがわかった。

	選択項目 (N=467)	回答数	構成比
1	増えた	40	8.6%
2	あまり変わらない・全く変わらない	227	48.6%
3	減った	167	35.8%
4	わからない/覚えていない	33	7.1%
	計 (回答総数)	467	100.0%



「コロナ禍における実施環境の変化」

問 59. コロナ禍前と比べてスポーツを実施する環境にどんな変化がありましたか。 【複数回答可：いくつでも】

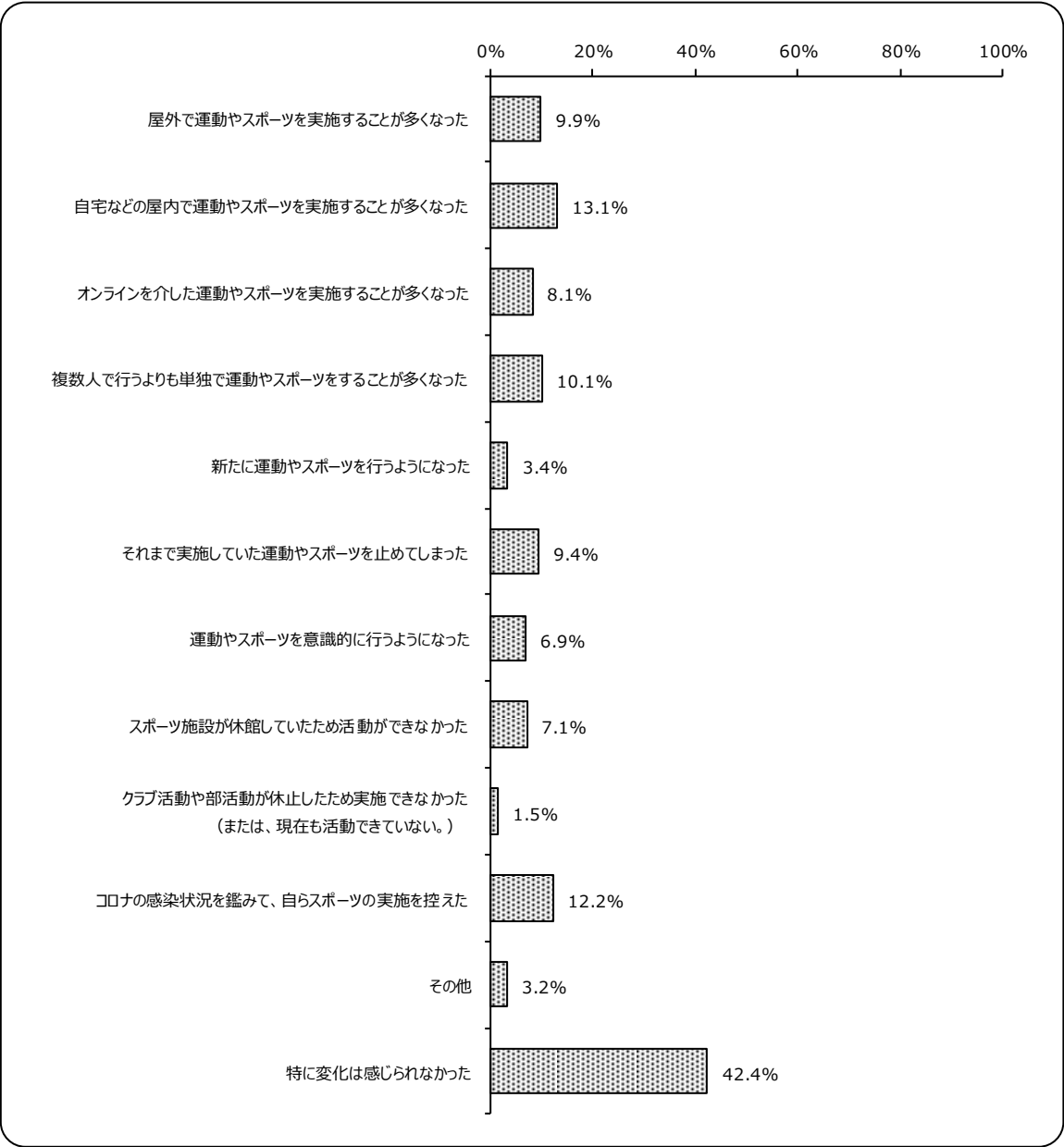
「特に変化は感じられなかった」（42.4%）が最も多い回答結果であったが、次いで、多い回答は「自宅などの屋内で運動やスポーツを実施することが多くなった」（13.1%）であった。コロナ禍で、自宅などの屋内で実施できる運動やスポーツのニーズがあることがわかる。

	選択項目 (N=467)	回答数	回答数/N
1	屋外で運動やスポーツを実施することが多くなった	46	9.9%
2	自宅などの屋内で運動やスポーツを実施することが多くなった	61	13.1%
3	オンラインを介した運動やスポーツを実施することが多くなった	38	8.1%
4	複数人で行うよりも単独で運動やスポーツをすることが多くなった	47	10.1%
5	新たに運動やスポーツを行うようになった	16	3.4%
6	それまで実施していた運動やスポーツを止めてしまった	44	9.4%
7	運動やスポーツを意識的に行うようになった	32	6.9%
8	スポーツ施設が休館していたため活動ができなかった	33	7.1%
9	クラブ活動や部活動が休止したため実施できなかった（または、現在も活動できていない。）	7	1.5%
10	コロナの感染状況を鑑みて、自らスポーツの実施を控えた	57	12.2%
11	その他	15	3.2%
12	特に変化は感じられなかった	198	42.4%

[11 その他]

【主な回答】

- 在宅ワークとなり、通勤で歩くことがなくなった。
- 外出が億劫になって歩くのが減った。
- なるべく人のいない場所を選ぶようになった。



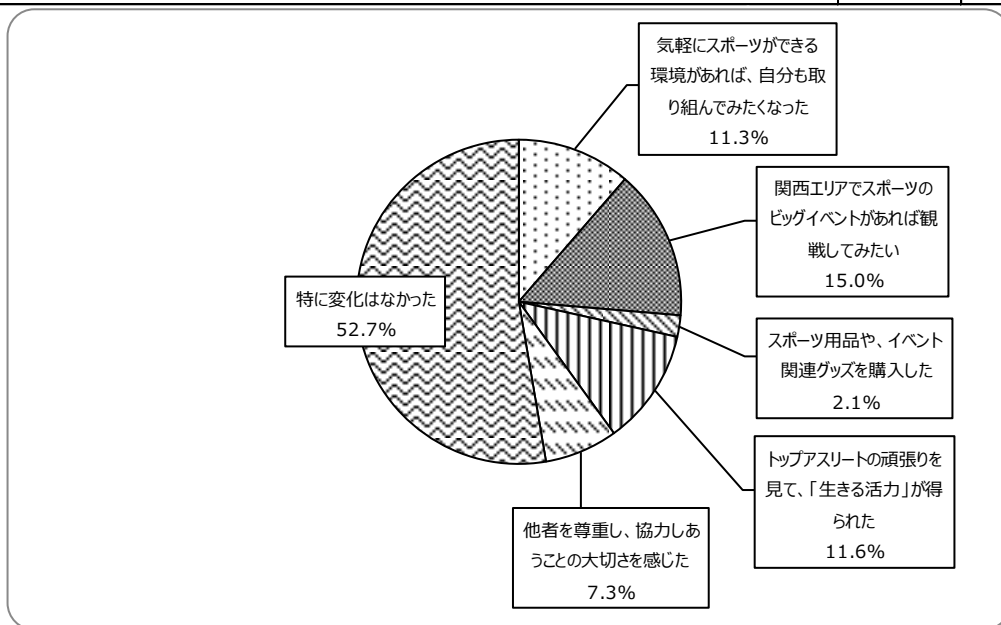
《大規模スポーツの影響について》

問 60. 近年ラグビーワールドカップ 2019 や東京 2020 オリンピック・パラリンピックが日本で開催されましたが、ご自身の意識や日常生活にどのような変化をもたらしましたか。 【選択は 1 つ】

「特に変化は無かった」と回答した割合が 52.7%で最も高かったが、次いで、「関西エリアでスポーツのビッグイベントがあれば観戦してみたい」と回答した割合が 15.0%であり、更に「気軽にスポーツができる環境があれば、自分も取り組んでみたくなった」と回答した割合が 11.3%であった。

このことから、大規模スポーツ大会の情報を様々な媒体を通じて見聞きすることにより、スポーツへの興味・関心を持った層がいることがわかる。引き続き、スポーツ観戦の機会や運動・スポーツの各種情報の発信を通じてスポーツへの関心向上に努める。

	選択項目 (N=467)	回答数	構成比
1	気軽にスポーツができる環境があれば、自分も取り組んでみたくなった	53	11.3%
2	関西エリアでスポーツのビッグイベントがあれば観戦してみたい	70	15.0%
3	スポーツ用品や、イベント関連グッズを購入した	10	2.1%
4	トップアスリートの頑張りを見て、「生きる活力」が得られた	54	11.6%
5	他者を尊重し、協力しあうことの大切さを感じた	34	7.3%
6	特に変化はなかった	246	52.7%
	計 (回答総数)	467	100.0%



«運動やスポーツ以外の趣味・娯楽について»

問 61. 運動やスポーツを実施する以外に日頃行っている趣味・娯楽は何ですか。 【複数選択可：いくつでも】

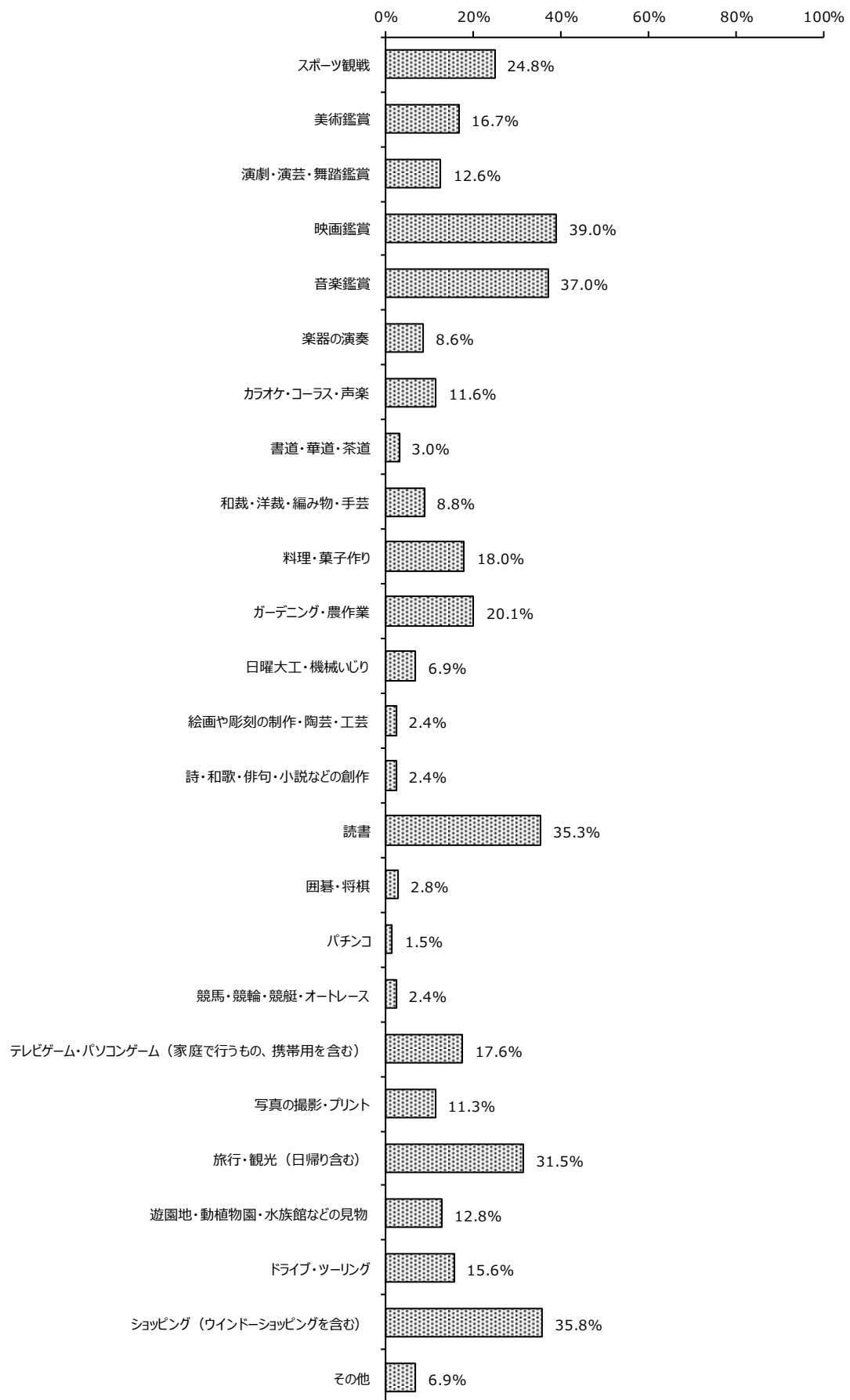
「映画鑑賞」(39.0%)、「音楽鑑賞」(37.0%)、「ショッピング(ウインドーショッピングを含む)」(35.8%)の結果を受け、ショッピング等と運動を連携させるなど、割合の高かった趣味・娯楽を通じてスポーツや運動を推奨することで、スポーツを行わない方へのアプローチの可能性を検討していく。

	選択項目 (N=467)	回答数	回答数/N
1	スポーツ観戦	116	24.8%
2	美術鑑賞	78	16.7%
3	演劇・演芸・舞踏鑑賞	59	12.6%
4	映画鑑賞	182	39.0%
5	音楽鑑賞	173	37.0%
6	楽器の演奏	40	8.6%
7	カラオケ・コーラス・声楽	54	11.6%
8	書道・華道・茶道	14	3.0%
9	和裁・洋裁・編み物・手芸	41	8.8%
10	料理・菓子作り	84	18.0%
11	ガーデニング・農作業	94	20.1%
12	日曜大工・機械いじり	32	6.9%
13	絵画や彫刻の制作・陶芸・工芸	11	2.4%
14	詩・和歌・俳句・小説などの創作	11	2.4%
15	読書	165	35.3%
16	囲碁・将棋	13	2.8%
17	パチンコ	7	1.5%
18	競馬・競輪・競艇・オートレース	11	2.4%
19	テレビゲーム・パソコンゲーム(家庭で行うもの、携帯用を含む)	82	17.6%
20	写真の撮影・プリント	53	11.3%
21	旅行・観光(日帰り含む)	147	31.5%
22	遊園地・動植物園・水族館などの見物	60	12.8%
23	ドライブ・ツーリング	73	15.6%
24	ショッピング(ウインドーショッピングを含む)	167	35.8%
25	その他	32	6.9%

[25 その他]

【主な回答】

- キャンプ
- 語学学習、資格取得
- 動画閲覧、ネットチェック



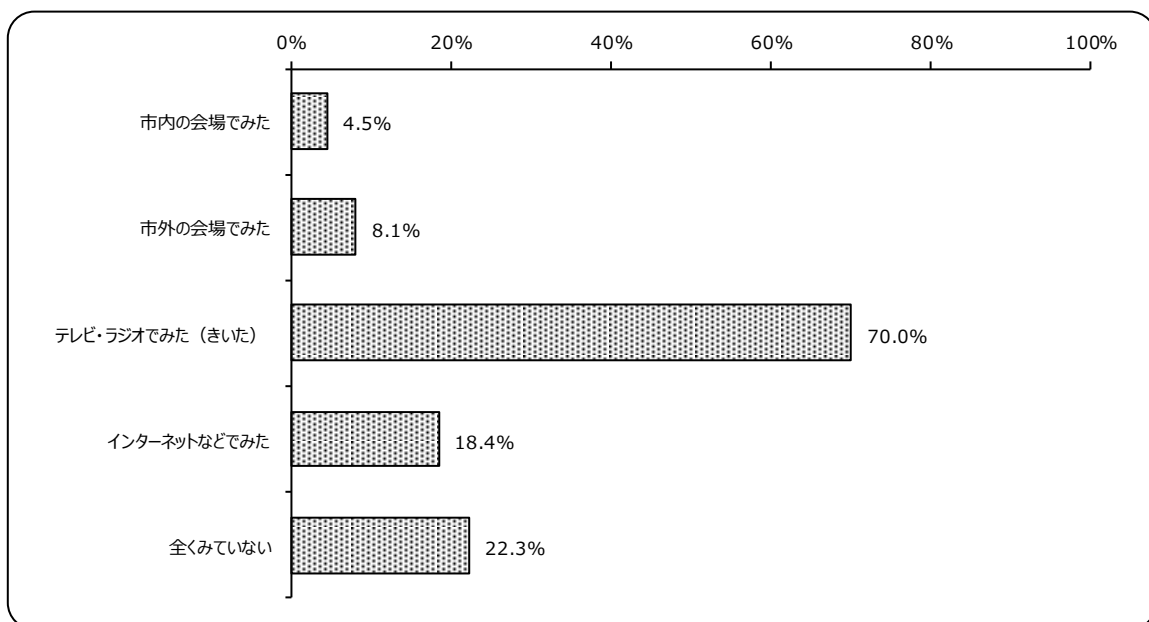
(2) 「みる」スポーツへの関心について

「スポーツ観戦について」

問 62. この 1 年間（令和 2 年 12 月 1 日～令和 3 年 11 月 30 日）に何らかの形で運動やスポーツをみましたか（プロ・アマ問わない）。 【複数選択可：いくつでも】

「テレビ・ラジオでみた（きいた）」の割合は 70.0%で最も高く、次いで、「インターネットなどでみた」の割合が 18.4%となっており、インターネットによる観戦機会も昨年度（13.8%）と比べて増えている。

	選択項目 (N=467)	回答数	回答数/N
1	市内の会場でみた	21	4.5%
2	市外の会場でみた	38	8.1%
3	テレビ・ラジオでみた（きいた）	327	70.0%
4	インターネットなどでみた	86	18.4%
5	全くみていない	104	22.3%



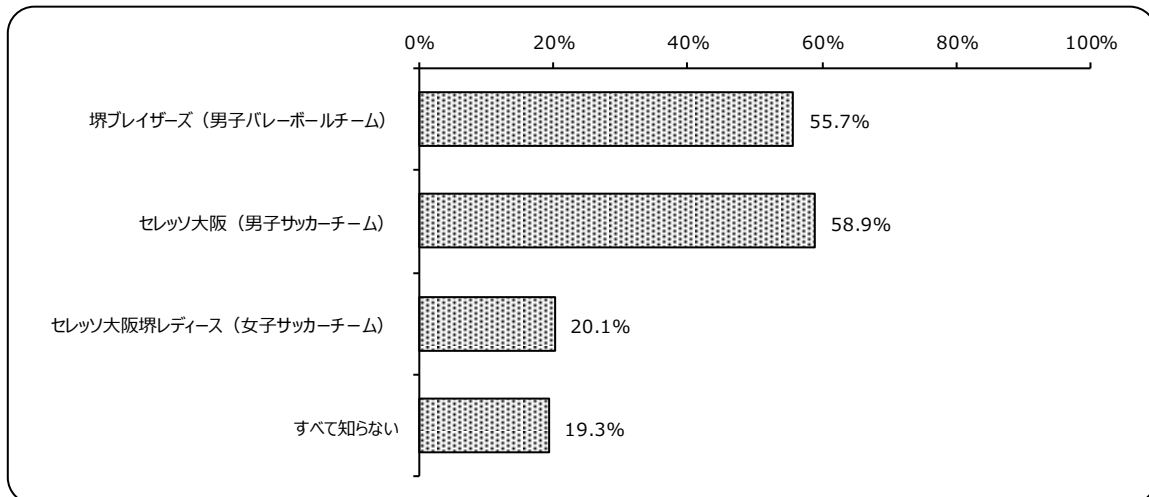
《堺ゆかりのトップレベルチーム》

問 63. 堺ブレイザーズ（男子バレーボールチーム）や、セレッソ大阪（男子サッカー）、セレッソ大阪堺レディース（女子サッカー）は、本市と連携協定などを結び、ホームタウン※として活動していますが、この中で本市がホームタウンであることを知っているチームをすべてお答えください。 【複数選択可：いくつでも】

※ホームタウンとは、スポーツクラブチームが本拠とする地域のこと。「チームと地域社会が一体となった活動を積極的に推進することによって、スポーツが地域の中に溶け込み人々に心身の健康と生活の楽しみを与えることができるまち」

「堺ブレイザーズ（男子バレーボールチーム）」及び「セレッソ大阪（男子サッカーチーム）」がホームタウンとして活動していることを知っている割合はいずれも 50%を超える結果であり、一定認知され市民に浸透していることがわかる。さらに認知度を向上させ、市民のスポーツへの関心を高め、機運醸成を図るため、ホームタウンとしてトップレベルチームとの連携を強化する。

	選択項目 (N=467)	回答数	回答数/N
1	堺ブレイザーズ（男子バレーボールチーム）	260	55.7%
2	セレッソ大阪（男子サッカーチーム）	275	58.9%
3	セレッソ大阪堺レディース（女子サッカーチーム）	94	20.1%
4	すべて知らない	90	19.3%



(3) スポーツボランティアについて

「スポーツボランティアについて」

問 64. あなたは、「スポーツボランティア」※を知っていましたか。

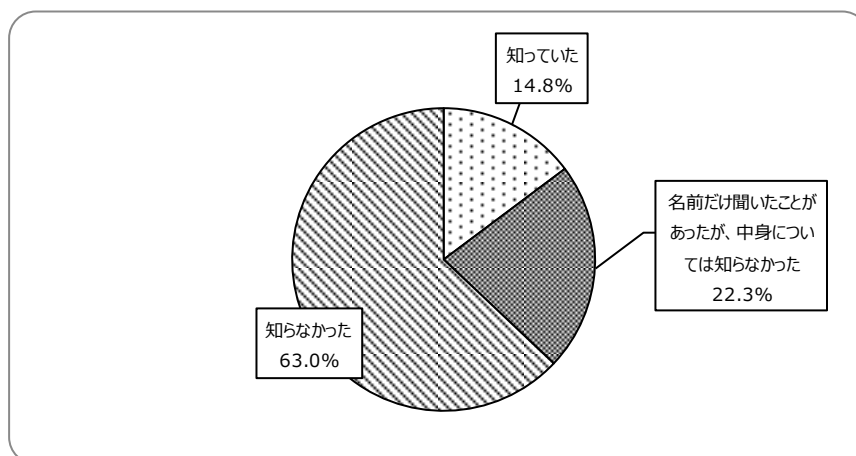
【選択は 1 つ】

※スポーツボランティアとは、報酬を目的としないで、自分の持っている技術や時間などを使って、地域社会や個人団体のスポーツ推進のために行う活動。主な活動内容としては、スポーツの指導、スポーツの審判、団体やクラブの運営や補助、大会やイベントの運営や補助、スポーツ施設の管理の補助など、自身やお子さんが所属するスポーツクラブの手伝い（送迎や参加者の飲料、弁当の準備など）を含む。

「知らなかった」（63.0%）が最も高い割合であり、スポーツボランティアの存在についてあまり知られていないことがわかった。

スポーツボランティアは地域社会におけるスポーツ振興に欠かせない役割を担っており、スポーツボランティアの意義や制度について積極的かつ持続的に周知していく必要がある。

	選択項目 (N=467)	回答数	構成比
1	知っていた	69	14.8%
2	名前だけ聞いたことがあったが、中身については知らなかった	104	22.3%
3	知らなかった	294	63.0%
	計 (回答総数)	467	100.0%



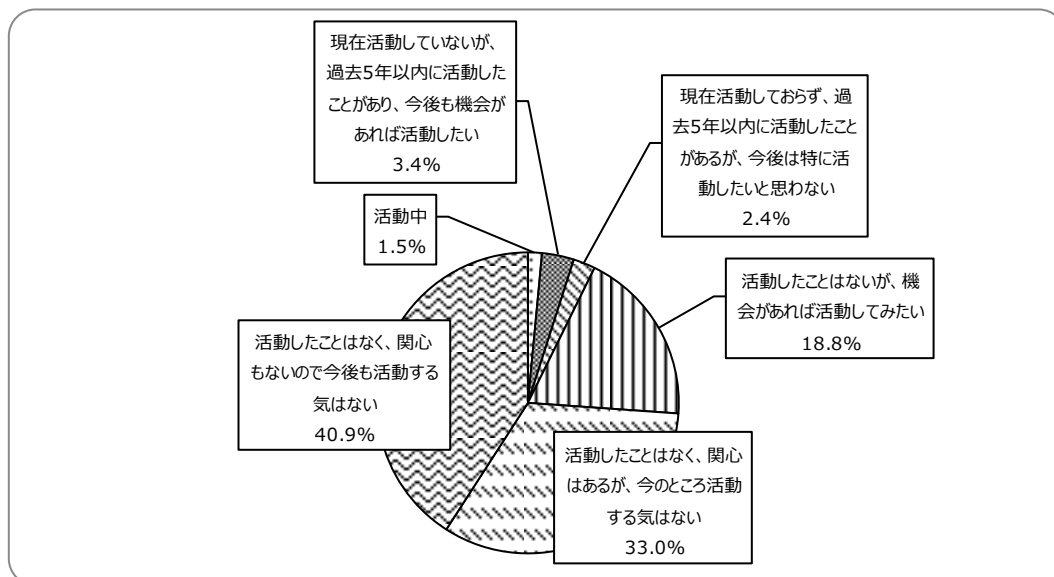
「スポーツボランティア活動について」

問 65. あなたは、スポーツボランティアとして活動したことがありますか。また、してみたいと思いますか。【選択は 1 つ】

活動したことがない方（4～6 と回答された方の割合の合計）は 92.7%という結果であった。また、そのうち今後も活動する気がないと回答された方が大半（73.9%）を占めている。

これらを課題として捉え、ボランティア活動への関心を高めるため、活動内容や意義を広く周知し、継続的な活動につながる動機や活動内容のあり方を検討する。

	選択項目 (N=467)	回答数	構成比
1	活動中	7	1.5%
2	現在活動していないが、過去5年以内に活動したことがあり、今後も機会があれば活動したい	16	3.4%
3	現在活動しておらず、過去5年以内に活動したことがあるが、今後は特に活動したいと思わない	11	2.4%
4	活動したことはないが、機会があれば活動してみたい	88	18.8%
5	活動したことはなく、関心はあるが、今のところ活動する気はない	154	33.0%
6	活動したことはなく、関心もないので今後も活動する気はない	191	40.9%
	計 (回答総数)	467	100.0%



問 66. あなたがスポーツに関するボランティア活動を行う（続ける）としたら、どのようなきっかけや動機づけが必要だと思いますか。 **【複数選択可：いくつでも】**

「好きなスポーツの普及・支援」（30.2%）の割合が最も高く、次いで「出会い・交流の場」（25.7%）、「社会貢献」（25.3%）と回答する方が続く結果であった。

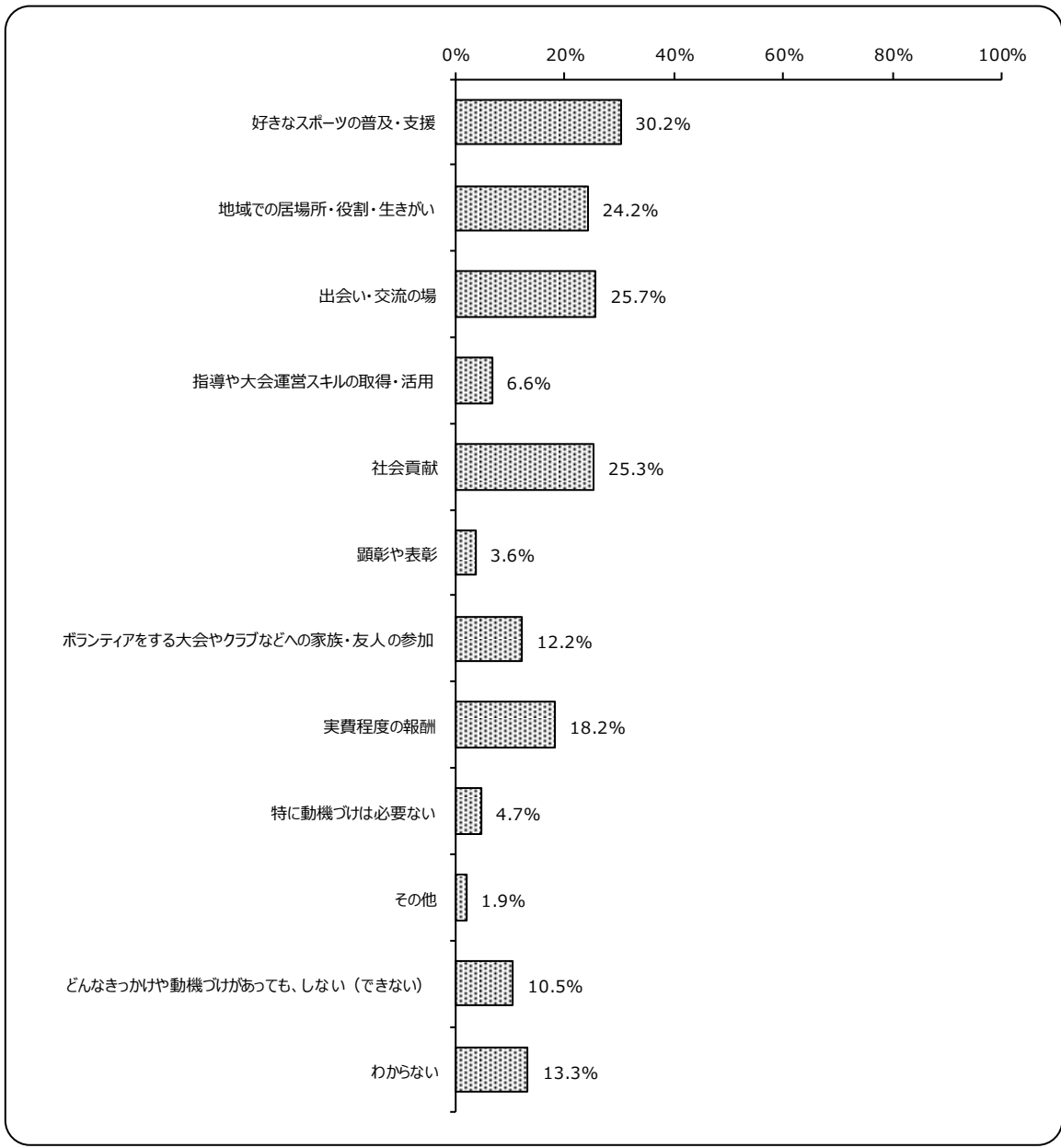
大規模大会やトップレベルチーム等との連携事業を通じて、スポーツボランティアへの興味を持っていただけるような取組を行っていく。

	選択項目（N=467）	回答数	回答数/N
1	好きなスポーツの普及・支援	141	30.2%
2	地域での居場所・役割・生きがい	113	24.2%
3	出会い・交流の場	120	25.7%
4	指導や大会運営スキルの取得・活用	31	6.6%
5	社会貢献	118	25.3%
6	顕彰や表彰	17	3.6%
7	ボランティアをする大会やクラブなどへの家族・友人の参加	57	12.2%
8	実費程度の報酬	85	18.2%
9	特に動機づけは必要ない	22	4.7%
10	その他	9	1.9%
11	どんなきっかけや動機づけがあっても、しない（できない）	49	10.5%
12	わからない	62	13.3%

[10 その他]

【主な回答】

- 子どもと参加できること



(4) スポーツに関する情報について

《情報の取得経路》

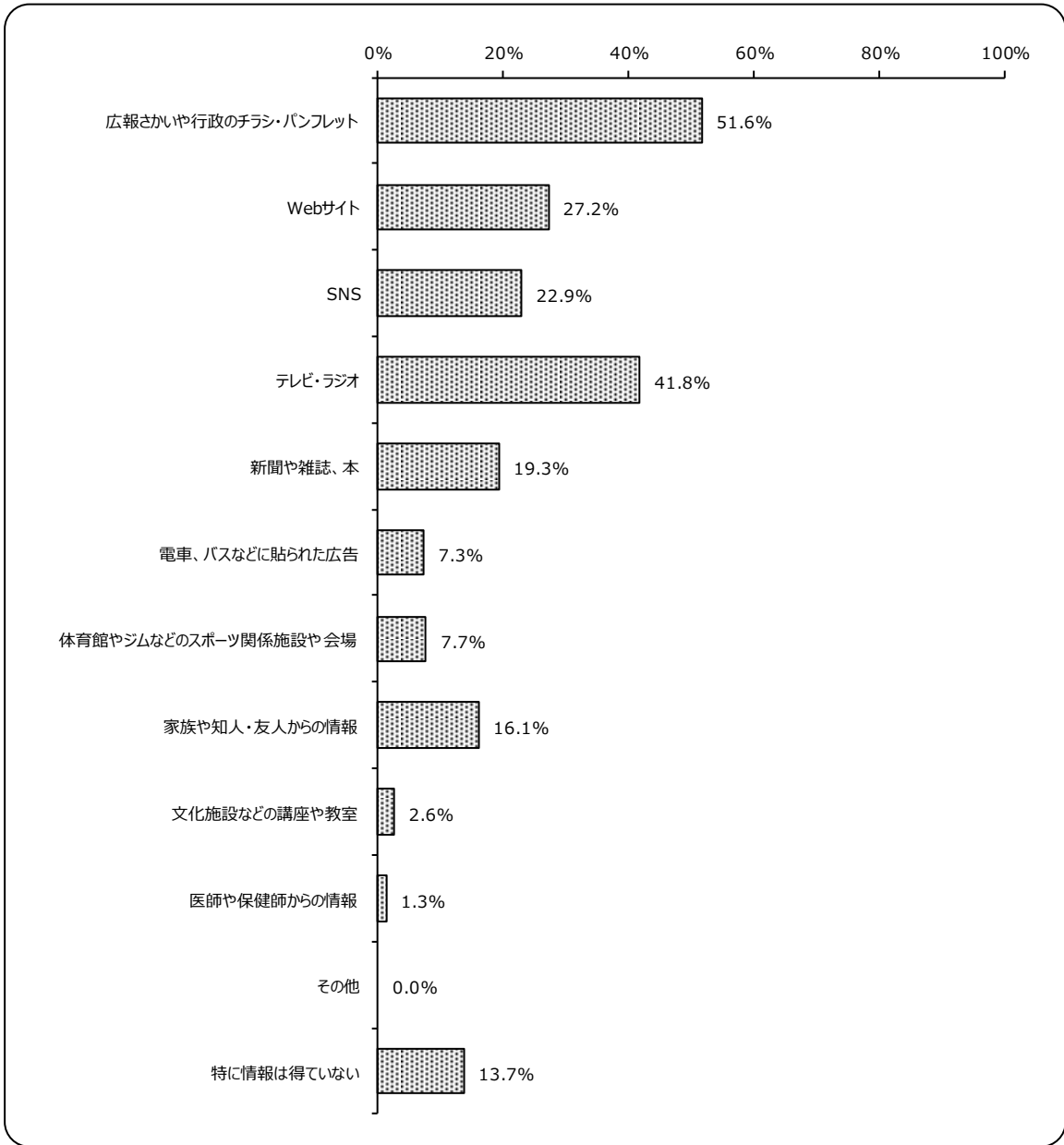
問 67. 運動やスポーツに関する情報をどこから得ていますか。

【複数選択可：いくつでも】

「広報さかいや行政のチラシ・パンフレット」(51.6%)、「テレビ・ラジオ」(41.8%)が高い割合となっている。

	選択項目 (N=467)	回答数	回答数/N
1	広報さかいや行政のチラシ・パンフレット	241	51.6%
2	Webサイト	127	27.2%
3	SNS	107	22.9%
4	テレビ・ラジオ	195	41.8%
5	新聞や雑誌、本	90	19.3%
6	電車、バスなどに貼られた広告	34	7.3%
7	体育館やジムなどのスポーツ関係施設や会場	36	7.7%
8	家族や知人・友人からの情報	75	16.1%
9	文化施設などの講座や教室	12	2.6%
10	医師や保健師からの情報	6	1.3%
11	その他	0	0.0%
12	特に情報は得ていない	64	13.7%

※SNSとは、LINE、Twitter、Facebook、Instagram、YouTube など



《希望する情報について》

問 68. 今後、運動やスポーツに関するどのような情報を得たいと思いますか。

【複数選択可：いくつでも】

「運動やスポーツに関する教室やイベントなどの開催情報」（42.8%）の割合が最も高く、次いで「無理なく気軽に行える運動・スポーツの方法及び情報」（36.6%）の割合が高くなっている。このことから、実際に運動やスポーツを実施するために必要な情報へのニーズが高いことがわかる。引き続き、スポーツ部公式 Twitter や市ホームページを通じて、市民が必要とする情報発信に努めていく。

	選択項目 (N=467)	回答数	回答数/N
1	運動やスポーツに関する教室やイベントなどの開催情報	200	42.8%
2	市内で観戦可能なスポーツ大会の情報	165	35.3%
3	市内のスポーツ施設の利用案内	128	27.4%
4	市内で活動するスポーツ団体などの情報	61	13.1%
5	スポーツボランティアの募集案内	64	13.7%
6	無理なく気軽に行える運動・スポーツの方法及び情報	171	36.6%
7	競技力向上のためのトレーニング方法や指導方法	34	7.3%
8	その他	4	0.9%
9	特に得たい情報はない	102	21.8%

[8 その他]

【主な回答】

- 気ままに参加できる無料の運動イベント

